あれは正義で、これは悪で...

スレイブ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あれは正義で、これは悪で…

【Nコード】

N2031Q

【作者名】

スレイブ

【あらすじ】

目付きが悪い、直ぐに手が出る、運がないそれ以外は普通の奴だった。其なのに何故？

何故、俺はヒーローどもと戦ってる!？

ひよんな事から日常が

非日常になっちまった？

はあ〜マジで最悪だあ？

俺は悪の組織の幹部

キン、キン、ガツキン!!

金属がぶつかり合う……。目の前の相手は叫ぶ!!

「貴方はいつたい何者なの!？」

「悪いが答える必要はない」

爆発、悲鳴が鳴り響く中、俺と女は刀と杖をぶつけ合った。

キン、ガツキン

ただ、相手を倒すために…

しかし、邪魔が入った。

「ハッハハハ」

「誰が呼んだか赤き牙」

「風を切り裂く青き翼」

「大地揺らめく黒き鼓動」 「 「 「我ら閃光の如く現れる」 「 「

「ファンゲレッド!!」

「バードブルー!!」

「エレファントブラック!!」

ヒーローどもが来やがった!!

「今回は部が悪いようだな、退散させてもらおう」

パチンッと指を鳴らすと

ポッコポッコと影から

出てくる黒い奴ら…。

ヒーローどもと戦ってる内に俺はユラリと影の中に消えていった…。

俺は安全を確認すると、
後ろから声をかけられた。

「ご苦労様、初めてにしては中々ね」

何て軽く言われたが
冗談ではない？
こっちは命がけなのだから

「ハイ、
此が今日の日給ね!!」

「ああ」
「そっけないわねえ、
これから忙しくなるから頑張つてよ」

「はあく分かったよ？」
「じゃあ、もう帰って良いわよ、幹部殿」

俺はその言葉を聞きながら扉を開けた。

空を見ると日が落ち、
月が綺麗だった。

「何でこうなつたかなあ」
俺はポツリと呟いた…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2031q/>

あれは正義で、これは悪で...

2011年1月19日12時32分発行